第15章 労災保険関係様式について

(令和7年1月1日現在)

労災保険給付関係請求書等(下記において<u>太字</u>で記載のもの)について厚生労働省のホームページから ダウンロードできます。

【診療費請求書及び診療費請求内訳書】

より原負明水音及び砂 様式番号	物品番号	様式名称	掲載頁
診機様式第1号	7230	労働者災害補償保険診療費請求書	176
診機様式第1号の2	72227	検査に要した費用等請求書(指定医療機関用)	177
診機様式第2号	7231	診療費請求内訳書 (入院用)	178
診機様式第3号	7232	診療費請求内訳書 (入院外用)	179
診機様式第4号	7233	診療費請求内訳書 傷 (入院用)	180
診機様式第5号	7234	診療費請求内訳書 傷 (入院外用)	181
	72213	診療費請求内訳書(続 紙)	182
【診療費請求関係様式】			
		労災リハビリテーション評価計画書	183
		労災リハビリテーション実施計画書	184
			185
		指導管理箋(別紙様式1~4)	~ 100
		早期社会復帰のための指導項目(別紙様式6)	188 189
【給付請求書関係】			
業務災害用			
様式第5号		療養補償給付たる療養の給付請求書	190
様式第6号		療養補償給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届	191
様式第7号		療養補償給付たる療養の費用請求書	192
様式第8号		休業補償給付支給請求書・休業特別支給金支給申請書	194
様式第 10 号		障害補償給付支給請求書・障害特別支給金支給申請書	195
通勤災害用			
様式第 16 号の 3		療養給付たる療養の給付請求書	掲載略
様式第 16 号の 4		療養給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届	掲載略

様式第 16 号の 5		療養給付たる療養の費用請求書	掲載略
様式第 16 号の 6		休業給付支給請求書・休業特別支給金支給申請書	掲載略
様式第 16 号の 7		障害給付支給請求書・障害特別支給金支給申請書	掲載略
【診断書関係様式】			<u>.</u>
年金通知様式第2号の1		診断書(じん肺用)	197
年金通知様式第3号		診断書(せき髄損傷用)	199
年金通知様式第4号		診断書(じん肺・せき髄損傷以外用)	200
年金通知樣式第7号		障害の状態に関する診断書	201
障害(補償)給付請求用		診断書	202
介護(補償)給付請求用		診断書	204
診鍼様式第 1 号		はり・きゅう診断書	205
診鍼樣式第 2 号		マッサージ診断書	206
【アフターケア委託費請求	書】		
 実施要領様式第 5 号	81201	アフターケア委託費請求書	95
実施要領様式第5号の2	81203	アフターケア委託費請求内訳書	96
【二次健康診断関係様式】			
二機樣式第1号	72615	二次健康診断等費用請求書	132
二機樣式第2号	72620	二次健康診断等費用請求内訳書	133
様式第 16 号の 10 の 2		二次健康診断等給付請求書	134

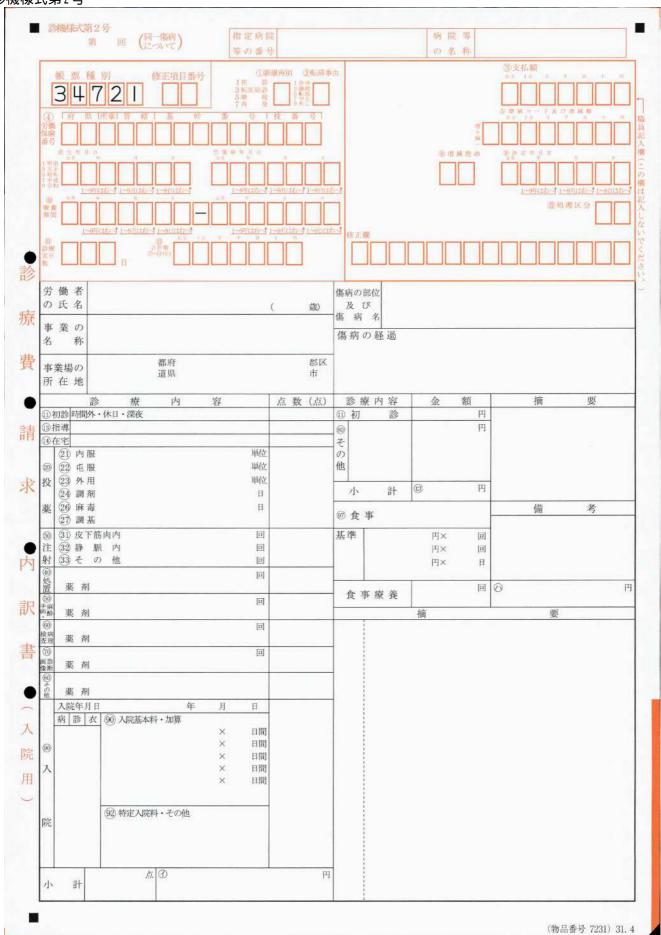
診機様式第1号

報 票 種 別 **#正項号	災害補償保険診療費請求書 ① 指定網院等の番号 ② ※受付年月日	
34720		
③ 請		
+x =x +x		
	クを付けてください。	
ただし、意味を言うない。	⑥ 請求月※修正欄」 月分」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
ほか_	名に対する診療費の内訳は、別紙内訳書のとおり。	
上記の金額を請求し	ます。	
年	<u>月</u> 郵便番号	
	住 所(所在地)	
請求人の	名 称	
(病院又は診療所)	т w	
	責任者氏名	
	長 <u>大 殿</u> <u>電話番号</u>	
,		
受付印		

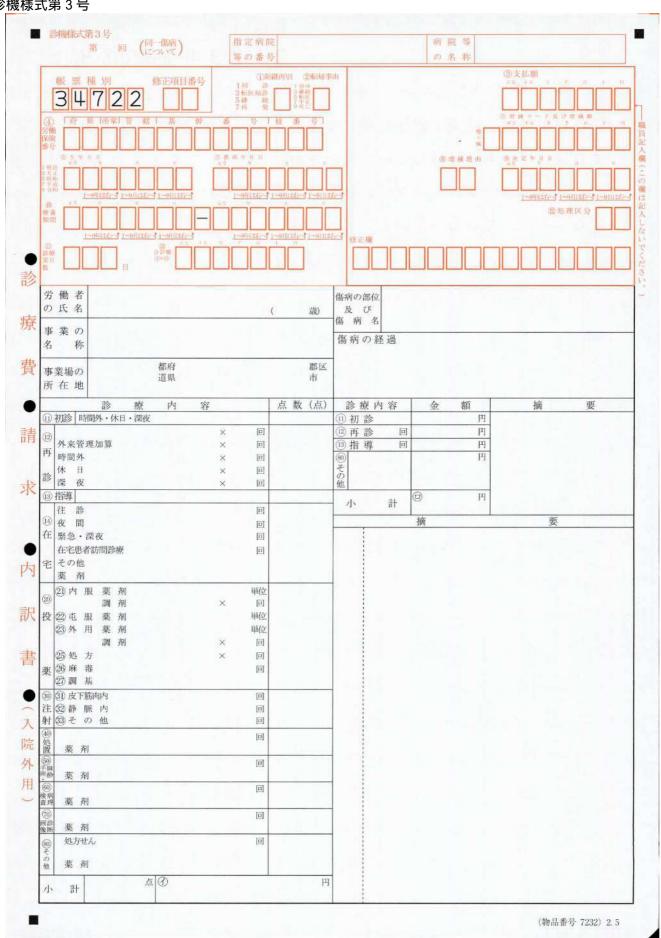
診機様式第1号の2

検査に要した費 帳票種別 **性正項 日番号	用等請求書(指定医療機関用)**** ① [12] 3 [4] 5 [6] 7 [8] 9 ① 斯姆麻醉の歌号 ② 斯曼付年月日
34720	1-99/30-5 1-90/35-5
金額の頭にギマーク	
ただし、おんされています。	D 請求月 ※修正欄
年 月 日代	寸けをもって依頼のあった
にかかる	の費用(内訳は別添の診療費請求内訳書
のとおり)を上記のとお	らり請求します。
年	月 日
	郵便番号
	住 所(所在地)
請 求 人 の (病院又は診療所)	名称
	責任者氏名
受付印	

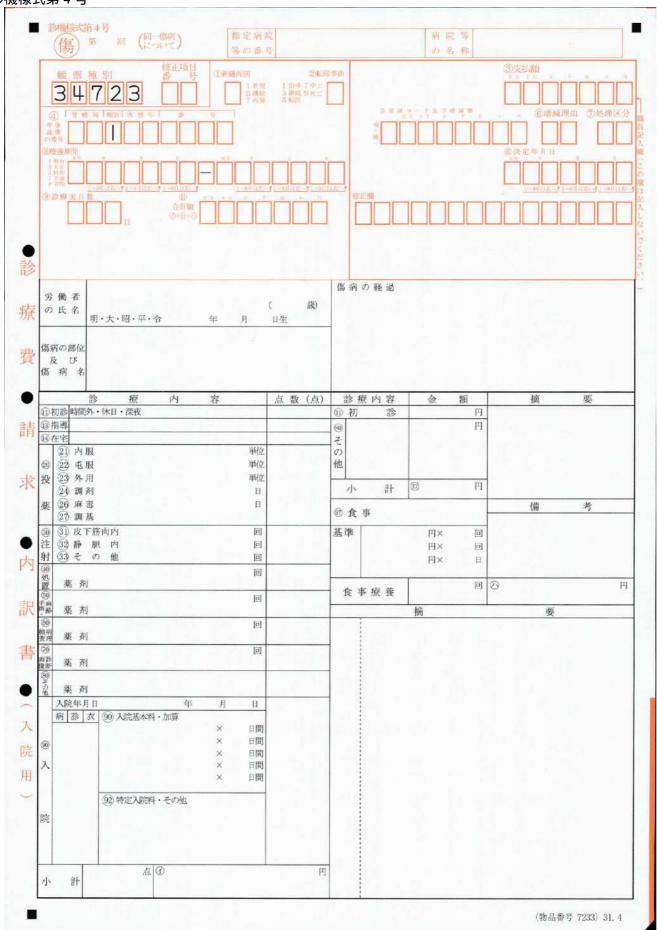
物品番号 72227) 3.5

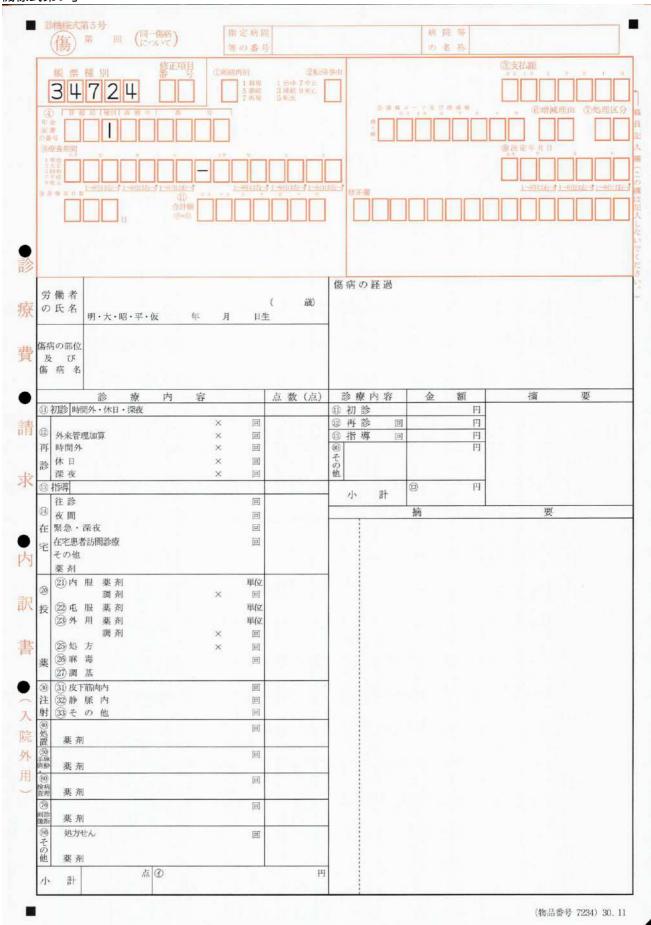


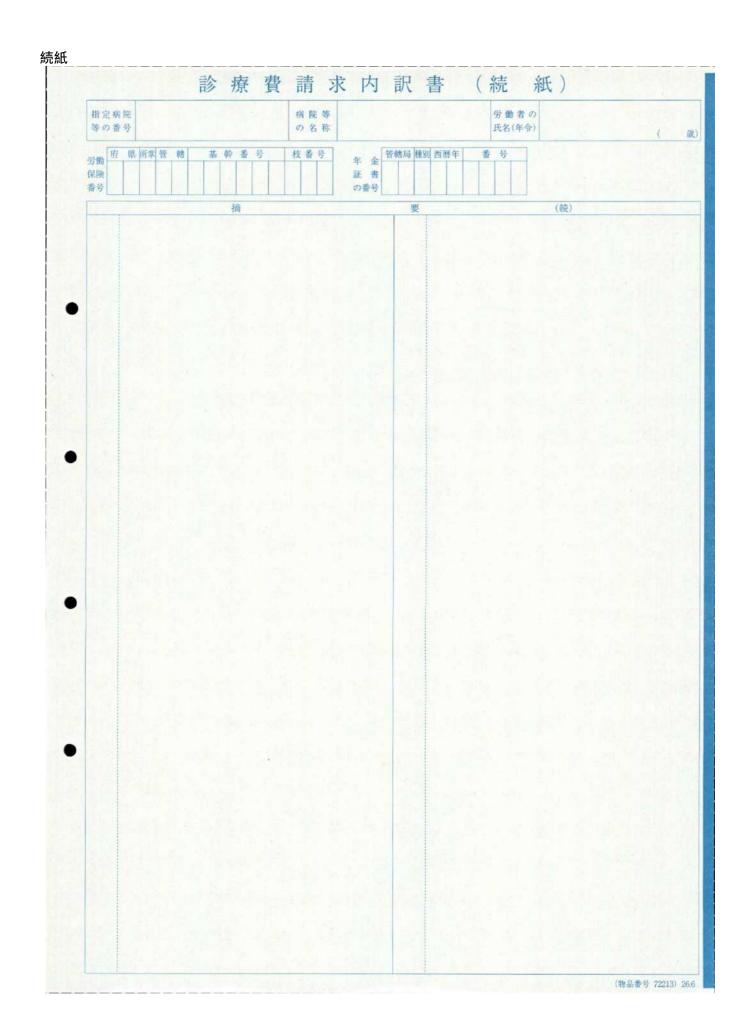
診機様式第3号



診機様式第4号







労災リハビリテーション評価計画書

患者氏名:		男・女	生年月日	年	月	日
原因疾患						
 [心大血管疾患・脳血管疾患等・廃用症	候群・	運動器・呼吸	器 (該当するものに	をして下さい	١,)]
リハビリテーション起算日(発症日、	手術日	、急性増悪の	日)(該当するものに	をして下さい。)	
	年	月	日			
現在の評価及び前回評価計画書作成日(年 月	日)からの改	善・変化等		
治療目標等						
(1)標準的算定日数を超えて行うべき 	医学的	所見 (必要性・	医学的効果等)			
	_	DIF (V-	****			
(2)目標到達予想時期:	年	月頃(必3	ず記入して下さい。)		
(3)その他特記事項						
評価計画書作成日:	年	月	日			
医療機関名	[医師				

注 前回評価計画書作成日からの改善・変化等の記載については、初回評価計画書作成日においては不要であること。

労災リハビリテーション実施計画書

参考9 別紙様式5

労災リハビリテーション実施計画書

患者	青氏名				英	· #	T		年生	(藏		計画評価	炭施日	年	Я	п
yo	担当医	PT	T			1	TC				S	т		150	(VERSION III	П		0.00115	-
	B疾患(発症・受傷日)	3				310		合併名	灰患・コン	ÞΦ	- 19	択抗	多(7	新曲	压, 心疾患	, 糖尿病	(等)		
心身機能・構	□意識障害:(3-3-9: □認知症: □中枢性麻痺 (ステージ・グレード)右上胎 左上 □能力低下(部位, MM 基 立位保持(装具:	b: 版: MT:	右手	手指	: 有:	右下り左うつかめ、	友:)	口失行	・失発機能	器能	· 障害	¥(1	D #	舞音障害,	口失訴	症:和	類)
造	本 平行棒内步行(號具: 數 數 數 數 數 數 數 數 數 數 十 二 二 二 二 二 二 二 二 二	Ð	常生	裁立 法(4	(日)	一部分助 一部分助 実行状/	O#	実施	"岳動"				-	_	東時能力:	'ෆ්ප්ර	活動	1	
	自立度 ADL·ASL等		1 部介助	介	友使	用用具				強立	監視	郎介	全介級		使用用具 杖・装具	姿勢・ 場所(介助内	訓練事 容等	5-病 ł	東等)
話:	歴外歩行 病嫌) 心への歩行 病験) 心への車椅子駆動 車椅子・ヘン・・間移乗 椅子座位保持 ヘッ・記念上がり 排尿(昼) 排尿(長)																		
8 th	食事 教育 更衣 装真・靴の着脱 入浴 コミュニケーション					. Assistan			******			***							******
	活動度 日中級床:口無 日中座位:口標					ベッドよ	., 0	+ *+97	・アップ						理由)
参加	職業(口無職。口病欠中。 これまでの職権・業務・仕) これまでの通勤方法: 復職券望 □理職復婚 経済状況:	事内容			ornis Boso		退職	予定)		社	会	家 力	D (F	内容	y·頻度等。	発症部	状况	を含む	i.)
	復職 □規職復帰 □転用 仕事内容の変更 □無 □ 通勤方法の変更 □無 □ 職場復帰に向けた日標:	1番に、	- म	□₹	の他							の希							
方針										9.	10.8	29:	r-	20	ョン終了の	目安・耶	斯		
與包	本的アプローチ				7														
本)	人・家族への説明 年	月	B	Ė	*	人サイン	J.)		- 1	旗	11	2	J.		25.	明者サイン			

⁽記人上の智意点) 1 「評価項目・内容」の「参加」機の「これまでの機能・妄機・仕事内容」、「これまでの途動方法」、「復職希望」を記入すること。 2 「日根」機には、集例労働者のこれまでの仕事内容、これまでの途動方法、復職希望等を踏まえ、仕事内容及び途動方法の変更の必要性を引数し、「職業復務に向けた日根」を設定のよ。記入すること。 3 「具体的アプローテ」機には、傷例労働者の「能場復帰に向けた日根」を結まえ、業務内容・過動方法等を考慮したアプローテ(キーボードの打勝やバスへの乗車等)を記入すること。

①精神疾患を主たる傷病とするもの(患者用)

	名				生年月日	年	J	8	男・女
負傷又	ZIŻ.	77480		2127	200			- 3	
亮病年	月日	年	月	11	傷病名				
休業前	作の			/ 深夜	勤 復帰を希	望 店職.	W SK BB	その他(- 3
職者	獲			有・	無する職権	值 ////	-94- (25) ARK	· · · CoNIEC	
			应	対に当:	たって必要な	指導事項			
1 1	最務内容変更	の必要性			1.7	2-2-100			
0	() あり (理由	1)	② な	L		
2 f	作業制限の必	要性(職務	内容変更	ありの場	合、作業制限の	0有無)			
G	D軽作業可	②一般事	勝可 ②)肉体労働	めの制限 ④	普通勤務可	⑤その他	<u>µ</u> ()
ſ	①~②の数	場合その期間	前(推定))					
L	(2	年	月頃まで	<u> </u>					
84 - N	助務時間調整								
	D あり (1日		A 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		間まで)	② な	L		
11000	なしの場合、			-0.00.000000		1000			
3	〕あり(1日		Marie Control		間まで)		L G	深夜勤不可	
-10		ADMINISTRATION WE	の、海外	出張など)の制限の必要	Remarks and the second	27		
3	D あり(制限()・禁止	The same			
		位膜を伴う機	機械操作等	學、作業P	内容制限の必要				
ne 8	D &9 (territ in the reservation	a)	②な			
6 2	対人業務の制	限の必要性	E:				Vi.		
- 7	The selection of								
	D &9 (W. b TT			a server become	② な			
7 4	その他就労に	1111100 1001000			い事項等につ	-	L		
7 4		1111100 1001000				-	L		
7 4	その他就労に	1111100 1001000				-	L		1
7 4	その他就労に	きさ、労働の	密度、職材	場での人間	胃関係)	かいて)
7 - (その他就労に 例:職責の大	きさ、労働者 就:	密度、職場 労に当た	場での人間 って必要	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 - (その他就労に	きさ、労働者 就:	密度、職場 労に当た	場での人間 って必要	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 - (その他就労に 例:職責の大	きさ、労働者 就:	密度、職場 労に当た	場での人間 って必要	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 - (その他就労に 例:職責の大	きさ、労働を就	密度、職場 労に当た	場での人間 って必要	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 4 (その他就労に 例:職責の大 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	きさ、労働者 就: で必要とされ	密度、職場 労に当た	場での人間 って必要	青関係) 更とされる療養	かいて			
7 4 (その他就労に 例:職責の大	きさ、労働者 就: で必要とされ	密度、職場 労に当た	場での人間 って必要	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 4 (その他就労に 例:職責の大 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	きさ、労働者 就: て必要とさえ 予定	密度、職材 労に当た 1る療養に	場での人間 って必要 に関する抗	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 A (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 業労に当たっ 今後の療養の 目に	きさ、労働者 就: て必要とさえ 予定 回程度の	密度、職材 労に当た 1る療養に	場での人間 って必要 に関する抗	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 A (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 数労に当たっ 全後の療養の 目に 容を確認しま	きさ、労働者 就: て必要とさな 予定 回程度の した。	密度、職材 労に当た 1.る療養に 診療予定	場での人間 って必要 に関する抗	青関係) 更とされる療養	かいて)
7 A ()	その他就労に 例:職責の大 業労に当たっ 今後の療養の 目に	きさ、労働者 就: て必要とさえ 予定 回程度の	密度、職材 労に当た 1る療養に	場での人間 って必要 に関する抗	関関係) 要とされる療養 背導事項	に関する指導)
7 A ()	その他就労に 例:職責の大 数労に当たっ 全後の療養の 目に 容を確認しま	きさ、労働者 就: て必要とさな 予定 回程度の した。	密度、職材 労に当た 1.る療養に 診療予定	場での人間 って必要 に関する抗	関関係) 要とされる療養 背導事項	かいて)
7 平 (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 党等に当たっ 会後の療養の 目に 容を確認しま 年	きさ、労働者 就: て必要とさな 予定 回程摩の した。 月	密度、職材 労に当た 1.3療養に 1.5療養に 日	場での人間 って必要 に関する打	関関係) 要とされる療養 背導事項	に関する指導)
7 平 (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 党等に当たっ 全後の療養の 目に 容を確認しま 年 とおり診断し、	きさ、労働者 就: て必要とさえ 予定 回程度の した。 月 職場復帰(密度、職場 労に当た 1.3療養シ 日 就労継続	場での人間 って必要 に関する打	間関係) 要とされる療養 音導事項 本人 る意見を提出し	と 関する指導 と と ます。)
7 平 (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 党等に当たっ 会後の療養の 目に 容を確認しま 年	きさ、労働者 就: て必要とさな 予定 回程摩の した。 月	密度、職材 労に当た 1.3療養に 1.5療養に 日	場での人間 って必引 に関する抗	関係() 要とされる療養 計算事項 本人	と 関する指導 と と ます。)
7 平 (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 党等に当たっ 全後の療養の 目に 容を確認しま 年 とおり診断し、	きさ、労働者 就: て必要とさえ 予定 回程度の した。 月 職場復帰(密度、職場 労に当た 1.3療養シ 日 就労継続	場での人間 って必要 で関する打 に関す	関係() 更とされる療養 音導事項 本人 る意見を提出し 所名 院又は 名利	を に関する指導 と ます。 E地)
7 平 (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 党等に当たっ 全後の療養の 目に 容を確認しま 年 とおり診断し、	きさ、労働者 就: て必要とさえ 予定 回程度の した。 月 職場復帰(密度、職場 労に当た 1.3療養シ 日 就労継続	場での人間 って必要 で関する打 に関す	間関係) 更とされる療養 音導事項 本人 る意見を提出し 所名 院又は 療所の	を に関する指導 著名 します。)
7 そ (() () () () () () () () ()	その他就労に 例:職責の大 党を確認しま をおり診断し、 年	きさ、労働者 就: て必要とさか 予定 回程庫の した。 月 職場復帰(密度、職場 労に当た 13万 (報 (報 (報 (報 (報 (報 (報 (報 (報 (報 (報 (報 (報	場での人間 って必要 に関する計	関係() 要とされる療養 音導事項 本人 る意見を提出し 所名 廃文は 療所の 医師	著名	學事項	双体文章 (17) 14)
7 そ (その他就労に大の他就労に大の他就労に大の他就労に大の他就労に大のをでいまった。 (全後の存在) (本を存在) (きさ、労働者 成: て必要とさえ 子回程庫の した。 月 服場復帰(月	密度、職場 労に振養 対 1 3 次 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	場での人間 って必要 での人間 での人間 での人間 があれる が ので必要 が のでの人間 が のでの人間 が のでの人間 が のでの人間 が のでの人間 が のでので のでので のでので のでので のでので のでので のでので の	間関係) 要とされる療養 音導事項 本人 る意見を提出し 療所の 医師 を継続しながら	とといて ととでは、 とは、 を を を を を を を を を を を を を	事項)
7 そ (1 g 上記内: 上記の。	その他就労に大 の他就労に大 の他就費の大 の他就費の大 の一 の一 で を を を を を を を を を を を を と に の に の に の に の に の に の に の に の に の に	きさ、労働者 就: て必要とさか 予定程度の した。 月 環境係 月 埋力ず通流院療	密度、職場 対しる療養・ 対しる療養・ 対力を療養・ 対力を療養を 対力を を が、 を が、 を が、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の	場での人間 って必要 での人間 での人間 での人間 での人間 がある が ので必要 が のでの人間 が のでの人間 が のでの人間 が のでの人間 が のでの のでので のでので のでので のでので のでので のでので ので	関係() 要とされる療養 音導事項 本人 る意見を提出し 所名 廃文は 療所の 医師	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	事事項 医師がお がお	Bめる者に対し)

②精神疾患を主たる傷病とするもの(産業医用)

氏名						生	年月日		年	月	Ħ	男・	女
休業前の 職 種	b.				深夜動		を希望	原職	 事務職 	・そ	の他()
病名	(1.) (2.	+)	_
3年(李体)年月日	(Œ	月	B • 2	不明	201954	半月日	(年	月	: F	1)
	症状 (※			97			1000000	(0)	000	10.7	72	17/5	
前回指	356-360											0 1	
症状	-50000											J.	
CDE (4	-	月	日)	~	(年	月	日)				
6院 (4	1	月	日)	~	(年	月	日)				
状経過	(①不	変・の	②改善例	真向·	③軽快	• (4)	寛解・⑤	その他())			
在の症が	+ [1	
ETAL VALUE OF	` \)	
l在の治療	医内容(薬剤	の内容	を含む	。)に関	する特許	2事項							
			35.00						W. 1.44				
	关予定					院 .	②通院	④治療)		
院 (6.0	日)		(年	月	日)			753	
師院 (2		月	日)		(年	月	日)	1月に		回程度	
状固定の	り見込み こって勤務に		年	月頃									_
	議務内容の 作業内容の	10000000	不9	要・要	Ę	-				-0.0#.C			
	不要・	要(華	E作業 可	J·一般	事務可	· 肉体	労働のみ	制限・普	通勤務可	· その	他()	
D B	時間外労働	の禁止	·輕減	不要	• 要	(特記	事項:						
x ;	臺屬地出張	(宿泊を	けらもの	の、海外	出張な	ど)の禁	止·軽減						
				不要	• 要	(特記	事項:						
7	自動車運転	- X2-11-15		the state of	等の制質	楚							
	不要・	500000000000000000000000000000000000000	作記事項	1:									
カータ	対人業務の	1000											
4	不要・				-11 -1-	40.00		- market in the	and the same of th				
+ -	その他勤務	内容に	対する。	5.見(例:	職賃の	大きさ、	労働密度	、職場で	の人間関係	能)			
	() met)	www. 1 55	e e firente	Chi									_
	こつて必要な	C相联研(が留息	. Al-									
労に当た													
:労に当た													
t 労に当た			0 = 800 (1)	シャスー	いと問う	F1 2-4	1.5						=
	. 26-951 75	## pet 80		C410-	CICIPIA	ましより							
	確認し、直	2000		rri-									
7 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	・確認し、産 年	業医等月		Ħ			木人型ク						
7 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10		2000		Ħ		3	本人署名	i					_
二記內容を		月		150	関する	-							-
上記內容を	年	月	帯(就労	150		意見を持							_
上記內容を	年 的診断し、	月職場復帰	帯(就労	継続)に	関する	意見を打	提出します 所在地						
2012	年 的診断し、	月職場復帰	帯(就労	継続)に		意見を打	是出します						_

③精神疾患を主たる傷病としないもの(患者用)

氏 名			4	年月日	年	月 日	男・女
負傷又は	年	Д	П	傷病名			<u> </u>
発病年月日 休業前の			(深夜勤)	復帰を希望	i Santanana ana	AMANDATING HAVE UNIONS	
職種			有・無		原職・事	務職 ・ その他(
		就多	学に当たっ	て必要な指	導事項		
1 職務內容	『変更の必要性						
① あり (理由:)	2なし		
2 作業制限	その必要性(職種	務内容変更	ありの場合	、作業制限の	>有無)		
	美可 ②一般等		的体务働	のみ制限(企普通勤務可	⑤その他()
(D~0	③の場合その弊						
0 #1,7500-10		月頃まで	ل ا				
	問整の必要性 1日 時	deserve en	26.8	M-3est/	(©) ₹a1		
	1口 町 場合、時間外勤		Name and Address of the Park	川まじ)	161/41		
			2007 AND GROOT	間まで)	(2) tz1	③ 深夜勤不可	r
	3張(宿泊を伴う		anama di 1861		1 G () = 1	W 14-14-360 1	
① あり(A				The second secon	②なし		
5 自動車通	M転・危険を伴う	機械操作	等、作業内	容制限の必要	E性		
(D 35) ()	②なし		
6 その他刻	労に当たって	配慮しなけ	ればならな	い事項等につ	ンいて		
f ^a							1
	elek w	Mary NV A	N THE 1	U to we again have to	HH-1 46-786-4	K TE	
- At all y - Vi				CALLY MARKET	関する指導す	14	
1 就労に当	たって必要とさ	れる旅賽に	- 関する指	得事項			1
							1
2 今後の幕	産業の予定)
ere a Ministerna	回程度	の診療予算					
2710		- BC 1925 J. 76	4				
上記内容を確認	年 月						
上記内容を確認	T 7	H		+1990			
上記内容を確認	T 2	H		本人署名	8		- 3
	新し、職場復帰	A 1500		Security of the	ます。		
	070 55	計(就労継和	他)に関する	意見を提出し 所在地	1777-1777		30
	断し、職場復帰	計(就労継和		意見を提出し 所在地 又は	1777-1777		
	断し、職場復帰	計(就労継和	他)に関する	が 意見を提出し 所在地 又は 名称	1777-1777		
	断し、職場復帰	計(就労継和	を)に関する 病院	が 意見を提出し 所在地 又は 名称			
上記のとおり診	新し、職場復居 年 月 導管理箋は、7	B(就労継和 日 人院治療後	を)に関する 病院 診療 通院療養	5意見を提出し 所在地 又は 名称 所の 医師名	の就労が可能と	医師が認める者	
上記のとおり診 (注) ①この指 入院治療	新し、職場復居 年 月 導管理箋は、フ 薬を伴わず通院	番(就労継報 日 人院治療後 療養を2か	を)に関する 病院 診療 通院療養を 月以上継続	5意見を提出し 所在地 又は 名称 所の 医師名 を継続しながん	5歳労が可能と で就労が可能と	医師が認める者。 医師が認める者。 記載するものです	こ対し、

④精神疾患を主たる傷病としないもの(産業医用)

氏 業職 名 《受影时】 「	(1. (1.) 存在状		年	Į.	架夜動 有・無	復	年月日 帰を希望 る職種	原職・	年事務	55	日男・オ
病 名 発症(受傷 」初診明 」前回打	(1. (5)年月日 (5)年月日		年		有・無	7	- F	原職 •	重接線線		1
発症(受傷 口初診明 口前回排	(5)年月((5)年末		年	В					35.30386	その他	3
□ 初診明 □ 前回指	持症状 (年	В) (2,)
] 前回排	0222030	巡察9回		18	H •	不明) 初龄:	年月日	(年	月 日
The second second	2漢時	14.0 Tales and Revent	目以降は、	前回指導	時の症	状を記憶	数する。(前回	の指導管理	後の写しの	節付でも構い	生せん。))
入院	(年	月	日)	~	(年	月	日)		
善院	(年	月	日)	~	(年	月	日)		
有状経過	(()不変・	②改善	傾向・	③軽	决 •	①寛解・	5その他!)	
見在の症	44)
見住の証	状										J
見在の治	療内容	(薬剤の)	内容を含	tr.) iti	間する4	寺記事	項				
今後の治	療予定	((D入院	• ②入	完及び	通院	 ③通院 	· ④治疗	東不要)	
入院	(年	月	日)	~	(年	月	日)		
重院	(年	月	日)	~	(年	月	日)	1月に	回程度
E状固定	の見込	4	年	月頃							
此労に当	たって黄	游内容	に対する	意見							
		条件なし	1 11930							70	
2 動	務可能(条件あり) [条	件のある	期間	8=		年	月頃まで		
7	職務内	容の変更	不	要・専	Ē						
1	作業内	容の制限									
	不要	• 要	軽作業	可・一般	事務	可・肉	体労働の	み制限・	普通勤務	可・その他	也()
ウ	時間外	労働の禁	止·軽減	不要	• 要	(特音	2事項:				
æ	速隔地	出張(宿)	白を伴うも	の、海外	-出張	(32)	於止·經濟	成			
				不要	• 要	(特部	2事項:				
オ	自動車	運転+危险	奥を伴う8	機械操作	等の制	服					
		・要(7.77							
カ	その他	肠務内容	に対する	意見							
	.(
北労に当	たって必	必要な職権	器での留	意点							

早期社会復帰のための指導項目(別紙様式6)

参考14 別紙様式6

			氏名			
			発症(負傷) 年月日	年	月	
			治ゆ見込み 年月日	年	月	
〇職場(業務	が日常生活に	おいて注意する点(打	指導した項目に図を入れる	こと)		
【全般】						
Laciana	口傷病の状	機が安定するまでは、	無理に動かさないこと			
	口 受傷部位	なを意識しすぎて他の部	位に負担をかけないこと			
	口 受傷部位	を徐々に動かして、可	動範囲を広げるように努める	こと		
	□ 重いもの	を持つときは注意する。	こと			
	口 休憩時間	のストレッチなど一定の	の姿勢をとり続けないように心	がけること		
	口無理な姿	勢をとらないようにする	らこと			
		は避けたほうがよい				
		きしっかりとること				
	口その他注	意すべきこと(具体的に	こ記載する)			
【職場】	6					
「無場」	ロ 基時間が	0残業は避けること				
		/残業は難けること	z - L			
		意すべきこと(具体的に				
	((0)84	Se y receisement	- nu-ky - o/			
	de .					
[日常生活]						
	口 定期的に	自分で脈拍のチェック	をすること			
	口 適度な運	動を実施するように心	がけること			
	口 当面の間	間は、激しい運動は避け	ること(概ね月間)			
	口 食事の内	容、摂取量について注	意すること			
		建に努めること				
	口その他注	意すべきこと(具体的に	こ記載する)			
	1					
【その他】	(
L'C O'THE	口油肉後	学者品にアフターケアを	制度の相談をすること(該当者	(AD4)		
		意すべきこと(具体的に				
	(MARINE 2019			
	Ţ					
	1265	がないと指導した				
(該当する	場合のみ2()					
	92m (12	N 192	20.00			
指導日	年 月	8	医師名			

様式第5号

3 4 5 9 0 標準	事項をよく膝んだ上で、	オカキクケコサシスセワタチツテトナニヌ フヘホマミムメモヤュョラリルレロワン (企)受付年月日 ※
事業場の所在地 事業主の氏名 (法人その他の団体であるとき 労働者の所属事業 場の名称・所在地 (注意) 1 労働所属事業 直接所属する文店、工 事業主が振りたっちず	に記載したとおりであることを証明します。 はその名称及び代表者の氏名) の名称・所在地については、労働者が直接所属する事業・ 事現場等を記載してください。 、解棄制價給付のみの請求。 の配載内容が事実と関連ない。	2
管裏面に記載してくだ 上記により擦養補償給付又に 労働基準型 病診薬 動即取	さい。 主複数事業労働者療養給付たる療養の給付を請求し、 性管署長 殿	ます。

様式第6号

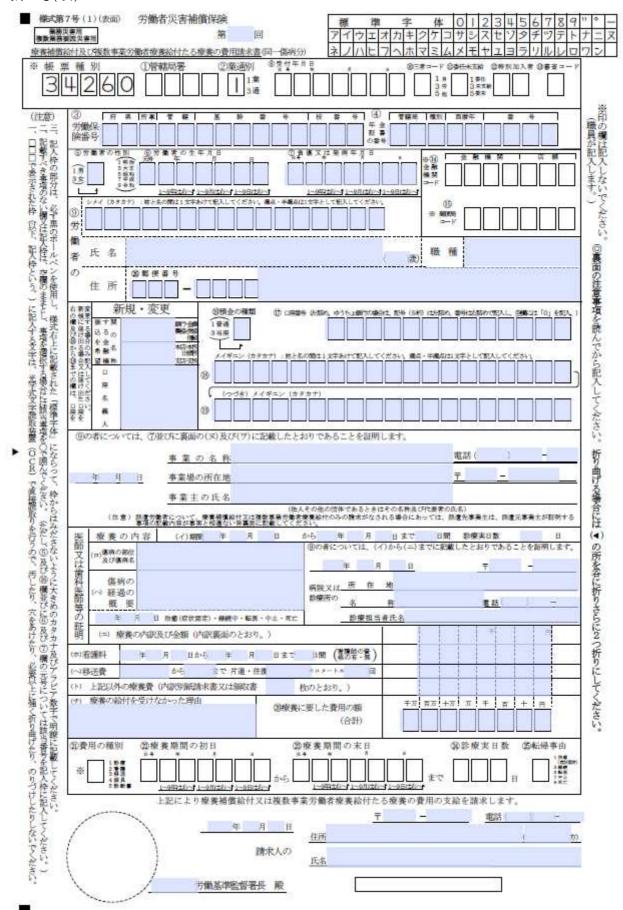
様式第6号(表面)

労働者災害補賃保険

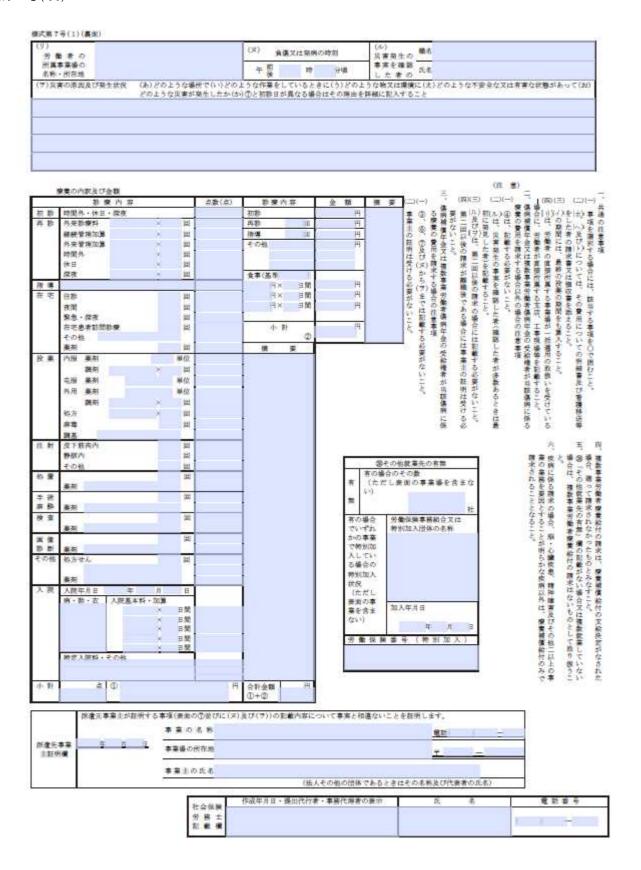
療養補償給付及び複数事業労働者療養給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届

			方側を円	4年是4	文 教				_					4-	- 19	- 11
					府	談	ě		1	=		-				
					診療型	形层		生由			440	Score Co.				
					訪問看護事					120	話()			0.3	
						住	所									
					届出人の	000	- colors									方
						氏	名									
下記に	より煮	養補價給	付及び	美事業	労働者療養	給付力	たるお	意養の診	付を受け	る指	定病院等	を(変更	するの	で)届けます。	§.	
(D 95	働	保	険書	号	Ĭ			7					④負傷又	は発病年	ЯΠ
府県	所掌	管轄	基幹	番号	枝番号	3	氏	名				(5	5・女)			
-	100000000			11	111	(0)								年	月	日
		8 8				労	44	年月日	4	Ŧ	月	П(歳)	1		
1	② 年	金	書	の #	号	働	abe	1.564.64	3	1000	2.9	61.3	Page 1	1		
	A.	127	TE C	100	7	者	住	所								
管轄	局 種	別 西暦年	F	器	号	Ø			es .					午後	時	分頃
					- 8	7	Ħ	種						24		
- 3			4			-		100					1111			1111
(5)	災害の	原因及び発	生状况	(10)	とのような	機切	City	りとの	とうながら	発化し	カトニュ		() E ()	ような物又は こかを簡明に	原現に(ス	020
30	者につ	vitit, G)及び気	に記載し	たとおりて	ある	25	を証明	します。							-
					事業の	名有	*		1000 m M AV	V1	100					
_		年 月		H	〒	- 5	_		電話	())	_		-89		
					事業場の別	在地										
					事業主の											
					(法	人そ(の他の	の団体で	あるとき	はそ	の名称及	び代表	その氏名		10	
				Z	称									労災指定		
	变	更前	0				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••		•••••	•••••			医番号).
⑥指				所在	地									8 21 /		ĵ
指定				2,	称											i
	変	更後	0	MATERIA D		9556		********		55555			405000			
病院				所在	地									Ī		-
等	-			25	15											
の変						****										
更	-		22	58									******			
	変	更	理	由	9							WITHOU	V000000			
					e wante	1000								0.000.000.000		
п. Т							••••			···	•••••			······		
•		債年金义は					••••				•					
an a	劳働者	傷病年金の	支給を受	-0	称											
Ø	労働者 けるこ の給付	(傷病年金の) ととなった (を受けよう	支給を受 後に極養	761	称									<u></u>		
Ø	労働者けるこ	(傷病年金の) ととなった (を受けよう	文給を受 後に極美 とする指	-61	称									<u></u>		

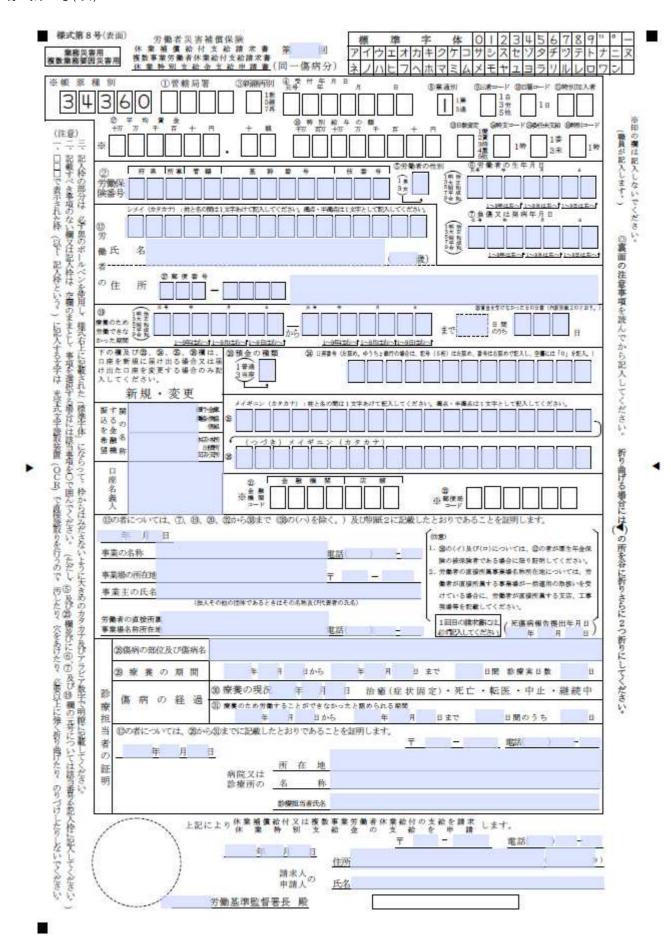
様式第7号(表)



様式第7号(裏)



様式第8号(表)



様式第10号(表)

様式第10号(表面) 業務災害用 複数業務要因災害用 フリガナ O 5 保険番 ④ 負傷又は務病年月日 府県 所掌 管轄 氏 8 (男 - 女) 基幹番号 枝番号 生 年 月 日 日(歳) 车 男 年 分類 働 住 年 銋 書 0) \$ 9 治療(症状固定)年月日 ¥ 晉轄局 種別 西群年 4 Ħ 雅 報 Æ 13 法属事業場 名称・所在地 3 100 均 貨 愈 のような作業をしているときに(う)どのような物又は環境に(え)どの ⑥ 災害の原因及び発生状況 ※書で、原稿及び第三条件。ような不安全な又は有害な状態があって(お)どのような災害が発生したかを簡明に記載すること Щ 65 特別給与の維額(年額) ○ 厚年等の年金証書の 基礎年金書号・年金コード 被保険者資格の 111 0 Æ A. B 取得年 厚生年金保険法の イ。障害年金 イ、障害年金 追摩牛年金保険等の号給関係 口。障害厚生年金 # 金 in. -国民年金法の 口、障害基礎年金 葡 動員保険法の障害年金 46 板 极 当該係病に関 支給される年金の額 PH OL て支輪され ŏ 00 程 10 支給されることとなった年月日 # Я ij. 厚 年 等 の 年 金 証 書 の 基礎年金番号・年金コード **所 朝** 年 金 事 務 所 号 ②の者については、⑥、⑥から②まで並びに⑤の◆及び②に記載したとおりであることを証明します。 事業的名称 電話(事業器の所在地 Ŧ 11. 事業主の氏名 (法人その他の団体であるときは、その名称及び代表者の氏名) (注意) ②の →及び ○については、②の者が厚生年金保険の被保険者である場合に限り証明すること ○ 既存障害がある場合には その 部 位 及び 状態 多種害の能位及び状態 (診断書のとおり) 付せの 金融機関 金融機関 ※ 金融機関店舗コード 金の私渡し 龄 本店、本市 銀行・金庫県協・漁協・信組 更 d 2 2 6 8 対照・支持・支持 茶 5 00 金 蔽 機 112 行の 最 預金通帳の記号番号 装通・当庫 56 It. X 额支 ※ 解 便 助 コ 便店 (登録している公 フリガナ 野女 金受取口座を利 金社 勒 用します:口) 都进 市郡 细節 蔗 在 m 約額 行便 預金通報の記号番号 100 8 の支給を請求します。 上記により の支給を申請します。 電話(Я 請求人 の 年 住所 中請人 氏名 労働基準監督署長 殿 口本件子練を裏面に記載の社会保険労務士に委託します。 個人番号 損金の機関及び口座番号 振込を希望する金融機関の名称 本版 + 本所 銀行・金庫 普通・当座 第 册 出等压 農協 - 漁協 - 信紹 口座名義人 支店・支所

様式第10号(裏面)

	(X	④その他就業先の有	13111		
有	有の場合のその数 (ただし表面の事業場を含まない)		の事業で特別加入している場合 とだし表面の事業を含まない)	合の特別加入状況	兄
無	社	労働保険事務組合又は特別加入	団体の名称		
先	(衛保険番号(特別加入)	加入年月日	年	Я	E
		給付基礎日額	17	375	15
		THE T P ADD HE TO NOT			TI.

[注意]

- 3
- ※印欄には記載しないこと。 事項を選択する場合には該当する事項を○で囲むこと。 ③の労働者の「所属事業場名称・所在地」欄には、労働者の直接所属する事業場が一括適用の取扱いを受けている場合に、労働者が直接所属する支店、工事現場等を記載すること。 ⑦には、平均賃金の算定基礎期間中に業務外の傷病の療養のため休棄した期間が含まれている場合に、当該平均賃金に相当する額がその期間の日数及びその期間中の賃金と業務上の傷病の療養のため休業した期間の日数及びその期間中の賃金とみなして算定した平均賃金に相当する額に満たないときは、当該みなして算定した平均賃金に相当する額を記載すること(様式第8号の別紙1に内訳を記載し添付すること。ただし、既に提出されている場合を除く。)。 ⑧には、負傷又は発病の日以前1年間(雇入後1年に満たない者については、雇入後の期間)に支払われた労働基準法第12条第4項の3箇月を超える期間ごとに支払われる賃金の総額を記載すること(様式第8号の別紙1に内訳を記載し添付すること。ただし、既に提出されている場合を除く。)。 請求人(申請人)が傷病補債年金又は複数事業労働者傷病年金を受けていた者であるときは、

- 写しの添付等は必要がないこと。 9 「個人番号」の欄については、請求人(申請人)の個人番号を記載すること。 10 本件手続を社会保険労務士に委託する場合は、「請求人(申請人)の氏名」欄の下の口にレ点を記入す
- 11 ②「その他就業先の有無」で「有」に○を付けた場合は、様式第8号の別紙3をその他就業先ごとに記載すること。その際、その他就業先ごとに様式第8号の別紙1を記載し添付すること。なお、既に他の保険給付の請求において記載している場合は、記載の必要がないこと。 担に他の保険給付の請求において記載している場合は、記載の必要がないこと。 複数事業労働者障害年金の請求は、障害補償年金の支給決定がなされた場合、遡って請求されなかったものとみなされること。 13 ③「その他就業先の有無」欄の記載がない場合又は複数就業していない場合は、複数事業労働者障害年金の請求はないものとして取り扱うこと。 14 疾病に係る請求の場合、脳・心臓疾患、精神障害及びその他二以上の事業の業務を要因とすることが明らかな疾病以外は、障害補償年金のみで請求されることとなること。

- が明らかな疾病以外は、障害補償年金のみで請求されることとなること。

社会保険	作成年月日・提出代行者・事務代理者の表示	氏 名	電話番号
労務士 記載欄			()
BL ANC TIME			A - 31

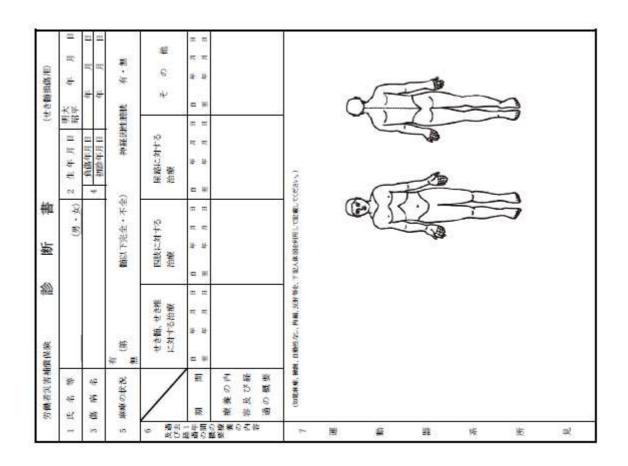
年金通知様式第2号の1(じん肺)表

		H		OL A. ME PLD			50 M	放產年月日	日		4	EF.		m	
		1									超	Ħ	禁	+	Ė
<u> </u>	(年・新)	64	生年月日	男大 年 報平	Я	o.	B.3	覚症状				2 2	衛 景	+ +	1 1
<u> </u>	製がわかる		じん財権を見る	じん解修理区分が管理4(又は4位度)フェル総通の対イル総通の対イル総通の対イル総通の対イル総通の対イ	な前限)	ф	18	St. 10. 10.	**	+	以本	五楽	養婦	+	1
Ø # # #	,	-	ななった。	と後途された年月	1 8	\$	提	201	推算	+	## G-	年月年	年 身	日	B B
Ø # #			4	年 月	ш	福	44		摄影符(^		推		ı	ш
Ø # E			初診年月日	年月	ш	2.	š	エックス製	風		祖:	性伏			
(ITC SHREET OF STREET OF S	TEALTFOR	3				E	証	特殊摄影			不 國 十 森 書 泰 酒	· 中月日(30日)	#	EC.	
(±¢ 5mmk R.0m)	#	=	#	#	11	+	-	海甲毒	Malent		11/200	エックス業	年月日	4 A	A
H H H H H H H H H H H H H H H H H H H						0 9	25	沉降速度	2時間値		#	- 体振影	_	1 1	
						8 W4	₩	シペルグリン 反応	× an	10 10	专用	4型 6 政			
施佐井日 年 月 日 安文賞書号							164	班					88	最養 (原	• 不要
						8	4	華		n I	中華公	単版と			
製造年月日 年 月 日 年 日 日 本	4. エックス級写真の像	~				10	#	-	應	最新	報程	予 関 債			
施防年月日 年 月 日 年 写	イ. 小輪影の区分	(0)	0/0 0/1 1/0 1/1 1/2	0 1/1 1/2		36	7	# 50	46 月 日	36	H	ш	#	Ж	
 		2/1	2/2 2/3 3/2	2 3/3 3/+)	100		施	36	提 提			8			
	8		区 分	444	=:		**	(C 16	財 活 最			3			
	数本	藥	1	рдг		华	×	1	多			rQ.			
張影条件 NA mAs (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	不敷形盤	能	\	- 38	î		氢	1	8			%			
10.00 10	ロ. 大陰脈の区分	V)	B C	-			W	1 %	番 会			%			
戦域研 査 年 月 日 耳吸困難 1 日 田	へ, 付加記載等項		ud oo bu lq)	Ca cv em		粗		## %	母 母			8			
表 年 月 日 平 収 日 平 収 日 平 収 日 単 収 日 田 田		8	px tb)				in Partie	華 級	1 日 1	#	н	ш	事	Н	
田 川 川 田田			甘	ш	ш		搬	推	の解位			8			
	^	47	7-1	+		\$	C4 4	搭曲かも分も	開車から分析降了までの時間			8			48
- + * * * * * * * * * * * * * * * * * *	樫	事	5 长間	+			K 18	※ 第	4 E			Tart			Tar
高 た ト ー	2	臣	+ 4 2 2	F - (1967)	^		5 AH	版 酸 力	7 不分 压			Tori			Tori
能 心學亢進 + 一	極	8	8			裥	i	新班公徽部	新数氢酸素血酸素分压酸剂			Torr			Tor
状その橋	m)	4	高					买	袒		[14		÷	+	#

百合	百	百四	加	甲	自	F 25	可否	加加	<u> </u>								1 1	
乗り勢や徒歩で発施に置ったり、自宅周囲や衝突幕内を敷歩することができる	平穏をゆっくりした研究でならいna程度以上歩くことができる。	金銭の手入れをしたり、株林を育れた5ヶ方が< の第9編集の日本を198 開展展展しまりませたもの。	名したアフルを見べた。簡単を置んだち、手を着ってむとが行うを写真理表式フト度さらいがからから。	他人の平を借りずに又は借りて、自宅や朝鮮内をゆってり歩くことができる。	他人の手を借りずに又は謂りて、倒所で降倒することができる。	他人の手を借りずに又は借りて、当内をゆべり歩くことができる。	個人の手を借りずに着物を着たり配いたりできる。	他人の手を借りずに終たり、超さたり、顕を洗ったり、食事をしたりできる。	 年後6ヶ月における上野状質の変化の見込の主義(金の集合は大の提用) び 「A人職及び合併程別外の最後により上級の状態が認められる場合にはその観察を記載して下さい。 	(後の)集合は、治療の概要や記載して下さい。)		(聚の場合は、その等由を記載して下的い。)		2		- - - -	49 5	黎夏寒 历必
8	0	0	0	0	8	8	0	0	新 編	鮅	粒	EX	XD				9.00	
				#i te	8 X		Carrie	各種自己のようなななののない。	一 パタイトの言	日今後における	品 製 20 検 20 及びその観点	13 今後における	人気の家の及びその専用及びその専用	ほその 傷の	各考界項	上記のとおり影響します 年 月 日	の事情はなる場所	V

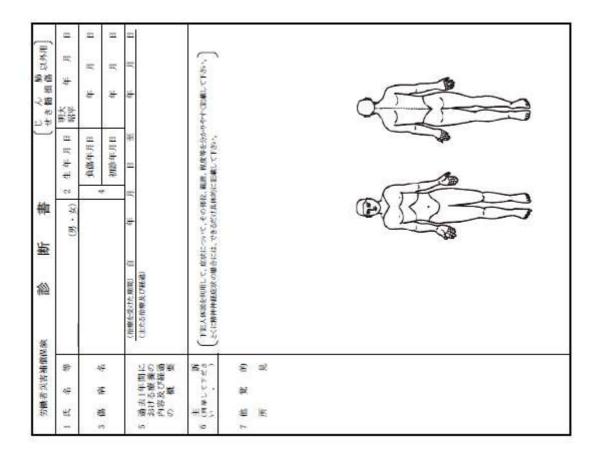
年金通知様式第3号(せき損)

	3.6), 19.08(184	- 7	-	-		11年中	000		E .											(Made
), 889.0	3, 86.00.0					422017			遊君有	10												40.00.00
			983				有を支持し、又は他につか言って上体を掘りすりができる	1440		基数は、大参兵を用いるければ歩行することがはを任め	ロカ (一本気を含む。) であたすらにかてきる											11.00	Deal.
)。 原管() 基础	テル指揮の作・制	98	差	Chapter.	の妻のない	事いすを介拠なく運転することができる	不響(作力で立位が保でない)	in which had	を参う	行動機器は自宅、保護内のみ	(10,00)	(36) Marie	(888)		ŕ	CARD MI		⊩ #	推	66	1
4		ć	16-64	1 mc67	is that	大田 山田	Xith.	報なの	4444	特品各用	HEST TEST	4.5	* *	の機能の	Hα	Kil •	Kα	SHRR		æ		無	١
4) (6	1, 1	自動品を用いても下掘	自動 馬を用いずはだり 企動 不要	はかな 物ナスーンだいなかい	20支持,	中中的	と難(作力	以"以"	11.7 (-X	1 1	おりたと思	をご番組	歐	E X	歌	48118年		*	80	2	
		*	- 1		200								今後も4月以内におりた上間総 初り変化の見込の有数	51.4.0.4	鑑	をひぬ 20年の	15	(0.75×18)	18.存職	5	高限以は診験所の 名		
- 年報 - 日本	年 4	元 報	图	* 41		行 新報子 (4)			C		10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	E E	報号: 今後6 報号: 405室	(第一段独立となるなどのを対象を対象を)を	K	施養療所及び加 無に対する物養	(8) 部級報告に対す (8) 名称機	本庭と職員のない様常に数する所見及び治療	(2) 医肝脏火柱医外腺素	上型のとおり部制します。 年 月 日	MRX		
1				3		6			8		- 2		100	8	3	8	20	3	a	S #			П



年金通知様式第4号(じん肺・せき損以外用)

信仰の多の形式 との表現の主要を 他に関係がある場合には かにはその他等 かにはその他等							
その他の主要な検査技能を	被查 年月日	S.	*				
日常生苗	C TREATS (I)	100	日の 幕田県共 日の 日本・春	日の 春日泉水 日辺 日本、発信内でのみ行 日辺 温度(単名を行うする	Dの 素白臭法 Dの 点も、発表がそのみが着できる のの 調整(単純的)できる		田田 田田
の 株 発験出来の	# 6	888	ロの全くは用を ロのも人の介料 ロの対象を	□① 全く作用を作びない □② 個人の介格によってできる □② 実験がない	수동소	-	田田
WHICH WELV LTTW:	# ₩ 83	888	00 全く自用を 00 個人の手動 00 を関係ない。	□① 全く自用を弁びない □② 個人の介料によってできる □② を開がない	000	=	明報
	C28el# 9)		第三個人 國時個人 通路可能	□① 常に私人の機能な住事を □② 開時組入の住家を戻する □② 通路可能であるが執かで	□の 第二個人の最高な社事を要する □の 国際自人の社僚を属する □の 国際可能であるが諸女子をなっ	.=_	44.44
	C (8) (1) (1)	The Court	日の 光会体大量 日の 他人との報 日の 大幅がない	最もないない。 までようやい	ロの 完全な失済ある。は整子機能のそうた ロの 私人との様でようやく業型を頂じあうことができる ロの 支険がない	_	er in
	** **	Mey Ass Recogn	今後の月以外におけると配配は の変化の見込みの作業	- Track	# ON(H)		
185 9	製	維和	(M M)				
の版のでは、	が	政治					
その他の	(1) 3の基準と指揮した。建築の政権と指揮	と物体へ	0 - (B) - (C)	外職と配			
新 郑 崇 张	(5 既已成, 既存得書	製作業					
今後6ヶ月間の教養等の見過し 単人に、確保企業は含むすー部体 業を受す場。他や総が固定を含い。 等の表徴について無体的に関係で 下がい。	被 操 等 中 の	関係さら					
上記のとおり診断します。 年 月 日	* =		1	11-			
11	の連絡を対する場合	E 4	Ħ	型 #			'
	The second second	a a	Vel.	報	(報報		



年金通知様式第7号

_{労働者災害補償保険} 障害の状態に関する診断書

① 氏	名			W M	N=150	② 生	年月	1 8	明治 大正 昭和 平成	组	Ξ	月	В
3 年	傷(発病)	昭和平成	年	月	В	④ 年		ø	昭和平成	年		月	B
5 傷		1	LAW I			4	月	B	十成		a K		
) 障:	害の部位		ines Résult										-
7					440					- 1.5	181		
Ψ													
障害													
0	1 88												
状態	FR +A	計測部位	又は検査の種類	類	8†	測	又	は	検 3	E Ø	結	果	-49
	快							17.					
0	節査のな										*******		
の詳細	関節運動範囲の結果				41.						*********		
詳	節運動範囲の計測で		THE STATE OF		5								
詳	関節運動範囲の計測又は検査の結果		196256-01		4 3						***************************************		
詳細日該	生活の状況する事項の	D	カ	□①終 □②目:	日臥床	勺での	み行動	助でき	£ &				
詳細日常	生活の状況	D	力事	□②自: □③通 □①全 □②他	宅、病棟P 院(単独が く自用を判 人の介助に	ちでの き行) きじな こよっ	み行』 できる てでき	めでき る	13				
詳細日常	生活の状況する事項の	(2) 食	850	□②自: □③通! □②全 □③支! □②全	宅、(自のが自身を 病・単年のがは では では では では では で で で で で の が に の の が に の の の の の の の の の の の の の	こよっ きじな こよっ	てでき い てでき	\$ 5 \$ 5					
詳細 日常 は は 日常 は は は は は は は は は は は は は は は	生活の状況する事項の	(2) 食	事便		宅、病棟P 院(単独が く自用を判 人の介助に	さいなっなっなっなっなっなっなっなっなっなっなっなっなっなっなっ	ていて意を	きる。要す	- 3				

以上のとおり診断します。

平成	年	月	B

病院又は 診療所の	所	在	地	
診療所の	名		称	
	診療	を行	テった 医師の氏名	
			(電話)

図とは、介護(補償)給付を受給している方のみ記入してください。

労働者災害補償保険 診 断 書

障害(補償)等給付請求用

				14 11 11 11 11 11	
氏 名		生 年	月日	年	月 日
W + b		負 像 発 病	又 は 年月日	年	月 日
傷病名		初齡	年月日	年	月日
障害の部位	0.	治ゆ() 年	症状固定) 月 日	年	月日
既 往 椗		既 存	降客		
主な療養内容 及び経過		るものは図解して下さい。)	***		
障害の状態及び XP等の所見					
労災保険制度の アフターケアの 必 要 性	なお、アフタ	*れかに○をしてください。 ・ーケアの対象となるケガや しています。)	病気は定められてお	り、一定の障害等	級などを対象
関節の機能障害の有無	有 (有無のいす	"れかに○をしてください。 場合は裏面の「上下肢等関	節角度測定表」に測り	を結果を記載して	下さい。)
上記のとおり診断しま		在 地	電話()	=	
10 mm - 4 mm - 2 mm	<u> 191</u>				
年 月		称			-
	診氏	斯 担 当 者 名			
	75				

(裏面あり)

上下肢等関節角度測定表

	関節名	中手	(足)指節製	節	指節	間関節			左	右
部位		左		右	左	右	部位	\	Æ	4
母指	屈 曲						m Ha	模似外框		
[第1足指]	伸展						- 母指	掌架外框		
	関節名	中手	(足)指節質	節	近位指	節間関節		遠位指飾	7 開関節	
部位		左		右	左	右	i is	£	7	Ħ
示指	畑 曲	Ì	Š					8		
[第2足指]	伸展									
中籍	畑 曲			5.05						
[第3足指]	伸展		Ĩ.							
療指	田 曲		Ĭ				Ü			
[第4足指]	伸 晨			**						
小指	畑 曲							2		
[第5足指]	伸展		\$.	- 3				- 3		
	運動方向	周 典(前)	(1) (4)	獎(後組)	回	旋		側	硼	
部位		ATT ATT CHILD	tar Par	er (Dr. AD)	左	右	. 8	te.	7	ħ
頸	部									
脚用	新田									
	部位	手	関節		足関節	OU	東節		ひざ関節	i
運動方向		左	右	左	右	左	右	左		右
屈 曲(掌	周+底周)				1					
伸 展	(背周)									
椀	田				部位	神田	節		股關節	
尺	翻			運動方向		左	右	左		右
\	部位	前	腕	福島	曲(前方拳上)					
運動方向		左	右	伸 #	曼(後方拳上)			ľ		
回	内			外車	医(側方拳上)					
囯	外			-	为転					
					外旋			00	9	
					内 旋					

- 【注意】

 1 本測定表のうち、必要部分のみ記載して下さい。

 2 患例のみならず健倒も測定して下さい。

 3 原則、他動運動により測定して下さい。自動運動で測定した場合には、その理由を記載して下さい。

自動運動で測定した理由		-
	1	

労働者災害補償保険

診 断 書

介護(補償)給付請求用

氏 名		生年月日 年	月	日
障害の部位(業務災害 又は通勤災害に係るも のに限ります。また、 障害が複数存する場合 は、その全てを記載し てください。)				21
障害の状態				
日常生活の状況 (該当する事項の項目 にょを記入してください。)	(2) 食 事 (3) 使 用 (4) 精神能力	□①終日臥床 □②自宅、病棟内でのみ行動できる □③通院(単独歩行)できる □①全く自用を弁じない □②他人の介助によってできる □③支障がない □①全く自用を弁じない □②他人の介助によってできる □③支障がない □①常に他人の厳重な注意を要する □②随時他人の注意を要する □③通院可能であるが就労できない □①完全な失語あるいは構音機能のそう失 □②他人との間でようやく意思が通じあうる □③支障がない	ことができる	
以上のとおり診断しま 平成 年 月	В	住 所		
TM 4 /	病院又は	L 1/1		
TW 4 7	病院又は 診療所の	電 話名 称		

(物品番号 62931)

診鍼様式第1号

(病院等控)

労働者災害補償保険 はり・きゅう診断書										
氏	名	(男・女) 生	上年月日 明治 大田 中華 中華	年 月 日						
傷病名及び		負	傷又は発病年月日	I						
傷系	第 部 位		年 月 日	年 月 日						
支給対象 区 分		はり・きゅうのみ ② 一般医療とはり・きゅう								
症	(※支給	対象区分欄の②に該当する場合は、施術効果の評価表を	添付すること。)							
状										
(主訴を含む)										
<u>ئ</u>										
治	,									
療上										
禁忌										
岌ぴ	,									
治療上の禁忌及び注意事項										
項										
	(※支給	対象区分欄の②に該当する場合のみ記載すること。)								
治										
新 目 的										
治療目的及び治療期間等										
治療										
期間										
4				,						
上記のとおり診断します。										
令和 年 月 日										
,		病院又は 所 在 地								
		診療所の 名 称								
		診療担当者氏名								

注)支給対象については区分欄の該当するものを○で囲むこと。

(物品番号 62511) 5.5

診鍼様式第2号

(病院等控)

労働者災害補償保険 マッサージ診断書															
氏	名					(男・女	()	生年月	日	明大昭平 令 和	4	£	月	В
傷病名及び 傷病 部 位									負傷又は	発病		初	診	年 月	日
									年 月 日			年 月 日			日
症 状(主訴を含む)															
治療目															
的															
-3															
上記のとおり診断します。 令和 年 月 日															
				,	病院又は	所	在	地							
					診療所の			称							
	診療担当者氏名										-				

(物品番号 62521) 5.5